

第四次長野県保健医療計画

～みんなで作る安心の医療と健康づくり～

平成15年3月
長 野 県

3 へき地医療

(1) 支援体制の充実

【現状と課題】

- へき地医療については、へき地中核病院^{※1}が巡回診療や医師派遣により、また、市町村がへき地診療所の設置や患者輸送車を活用することで、地域住民の医療を確保しています。

へき地中核病院

第2次保健医療圏	へき地中核病院	指 定
佐 久	浅間総合病院	昭和 56 指定
	佐久総合病院	昭和 56 指定
上 小	国立長野病院	昭和 54 機能付与
飯 伊	県立阿南病院	昭和 56 指定
長 野	新 町 病 院	昭和 63 指定
北 信	飯山赤十字病院	平成 4 指定

県内の市町村立診療所数

(平成 15 年 3 月 1 日現在)

市町村立 診療所	へき地診療所 (国保直診含む)
	92

(注) 休止中を除く。

※1【へき地中核病院】 へき地医療の確保を図るため、無医地区を有する第2次保健医療圏に所在する病院のうちから知事が指定したもので、無医地区に対する巡回診療、へき地診療所への医師派遣等を行う病院（国の第9次へき地保健医療計画に基づき、平成15年度から「へき地医療拠点病院」に名称変更予定）

- 無医地区（無歯科医地区）^{※2}は、県下に点在していますが、近年の道路交通網の整備等社会環境の向上、無医地区出張診療所の設置等により、車を利用して30分程度で最寄の医療機関を受診できるなど、実質的には解消されつつあります。

無医地区・無歯科医地区数

(平成 11 年 6 月 30 日現在)

区 分	無医地区		準じる地区 ^{※3}		無歯科医地区		準じる地区	
	市町村	地 区	市町村	地 区	市町村	地 区	市町村	地 区
県内総数	14	20	12	19	23	36	9	12

資料：厚生労働省「無医地区等調査及び無歯科医地区等調査」

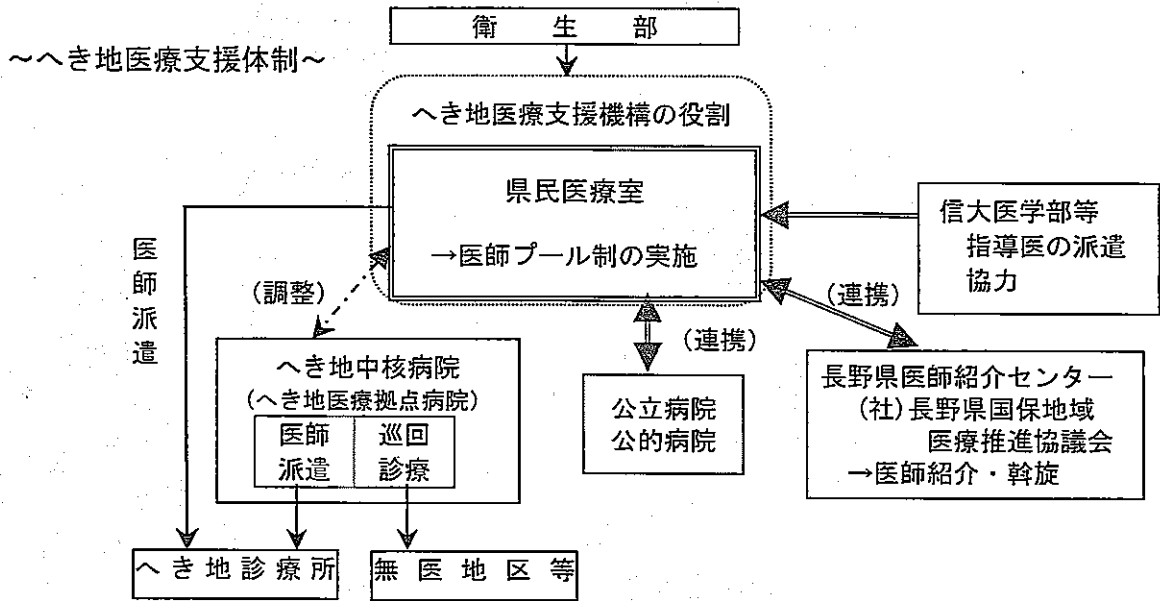
※2【無医地区（無歯科医地区）】 医療機関のない地域で、当該地区の中心的な場所を起点として概ね半径4Kmの区域内に50人以上が居住している地区であって、かつ容易に医療機関を利用できない（最寄り医療機関まで交通機関がない又は当該交通機関が1日3往復以下等）地区

※3【準じる地区】 無医地区（無歯科医地区）には該当しないが、無医地区等に準じた医療の確保が必要な地区として、知事が厚生労働大臣と協議の上認めた地区（例：医療機関はあるが診療日数が少ない又は診療時間が短い等により、巡回診療が必要な地区）

【施策の展開】

- 地域における交通事情、保健医療事情等の社会情勢の変化に対応しながら、市町村が実施するへき地診療所の施設・設備整備及び運営に対する支援により、無医地区等住民の医療を確保します。

- 当分の間、県立須坂病院に「県民医療室」を設置し、自治医科大学卒業医師を含め、地域医療を担う医師の教育環境や研修指導体制の充実を図るなど、へき地医療支援機構の役割を担います。



- 自治医科大学卒業医師を、全義務年限を通じ、へき地診療所、へき地病院等に配置することとし、特にへき地診療所に対しては、最優先に配置します。

(2) 医師等の確保

【現状と課題】

- へき地勤務医師等については、自治医科大学卒業医師の派遣、長野県医師紹介センターによる医師・歯科医師の紹介・あっせん等を行っています。
しかし、へき地診療所等においては、慢性的な医師不足の状況が続いており、さらに医師の高齢化に伴う後継者確保が困難な状況になりつつあります。

長野県医師紹介センターの活動実績（医師紹介成立状況等）

年度		年度																	計	
		59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
成立 件数	公立	9	7	5	12	8	11	13	11	3	9	4	7	6	6	2	7	2	1	123
	その他	5	2		2	3	3	3	1	3	1	1	2	3	2	3	5	2	0	41
延求人者数		36	12	8	43	38	26	44	28	29	37	33	42	44	48	28	45	45	46	
延求職者数		47	48	22	52	53	34	41	24	32	45	22	26	34	34	37	22	12	6	

【施策の展開】

- へき地中核病院（へき地医療拠点病院(H15～)）やへき地診療所などの地域医療を担う医師を養成・確保するため、当分の間、県立須坂病院に「県民医療室」を設置し、へき地医療支援機構の役割を担うとともに、へき地の医療機関へ医師を派遣します。また、公立病院や公的病院とも連携を強化し、医師の確保に努めます。
- 長野県医師紹介センターの機能強化を図るとともに、同センターと連携して地域の診療所などの医師の確保に努めます。

(3) 遠隔医療

【現状と課題】

- 遠隔医療は直接の対面診療を補完するものですが、病院から遠隔地の在宅療養者に対し、効果的な活用が望まれます。
- へき地をかかえる市町村等が情報通信網等インフラ整備を積極的に推進することが、遠隔医療の効果的な導入を図るうえで重要です。

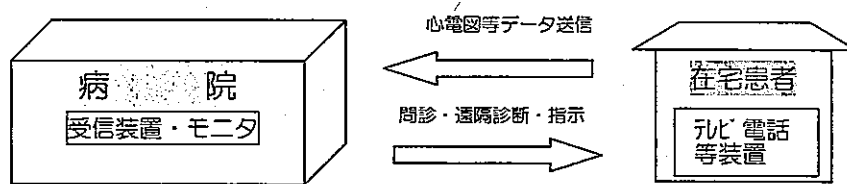
【施策の展開】

- 地理的事情等により通院が困難な在宅療養患者に対する遠隔医療の実施を促進します。
- 信州大学附属病院を中心とした医療情報ネットワークなどを参考とし、医療機関相互の遠隔画像診断等の実施を促進します。

～遠隔医療～

① 在宅遠隔医療

地理的事情や介護の都合等で往診、通院が困難な患者等に対し、情報通信機器を活用した遠隔医療を実施するもの

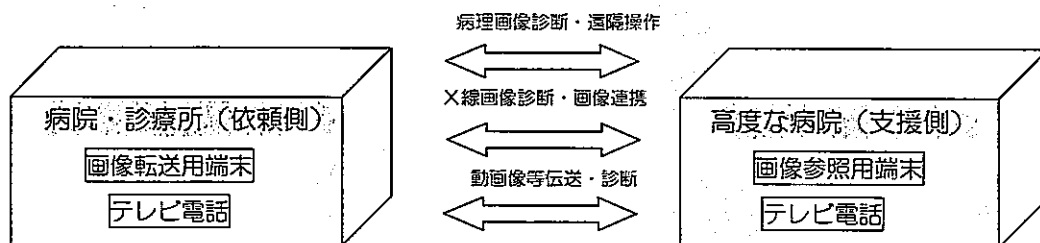


〔事例〕

佐久市の遠隔医療推進モデル事業、鹿教湯三才山病院等による遠隔医療システムなど

② 遠隔画像診断等

遠隔地の医療機関から病理画像、X線画像等を高度医療機関に伝送し、専門医の読影及び助言を得るもの



〔事例〕

信州大学附属病院と県内の中心的な病院（長野赤十字病院、飯田市立病院等、平成15年3月1日現在17病院）間を結んだ医療情報ネットワークなど



三 重 県

三重県保健医療計画 【第三次改訂】

平成15年12月 P.19

(10) へき地医療

【現状と課題】

- これまで自治医科大学卒業医師の配置、三重大学医学部の協力等により、へき地医療の維持を図ってきました。
- 自治医科大学卒業医師のへき地配置数は義務年限内の人数に限られています。
- へき地診療所においては、医師の高齢化が進み、後継者を確保するのが困難な状況です。
- 平成15年度から、へき地医療対策の各種事業を円滑、かつ効果的に実施するため、「へき地医療支援機構」を立ち上げ、専任担当官（へき地医療の経験のある医師）を県立志摩病院に駐在させています。
- へき地診療所に対する代診医の派遣、無医地区に対する巡回診療等を実施するため、「へき地医療拠点病院」として紀南病院、県立志摩病院、県立総合医療センターを指定しました。
- へき地における少子・高齢化の進展に適切に対応するため、保健・医療・福祉の連携を図りつつ、包括的な医療支援体制を整備することが必要です。
- 高齢者特有の慢性疾患に対応した医療の質的向上を図ることが必要です。

【施策の展開】

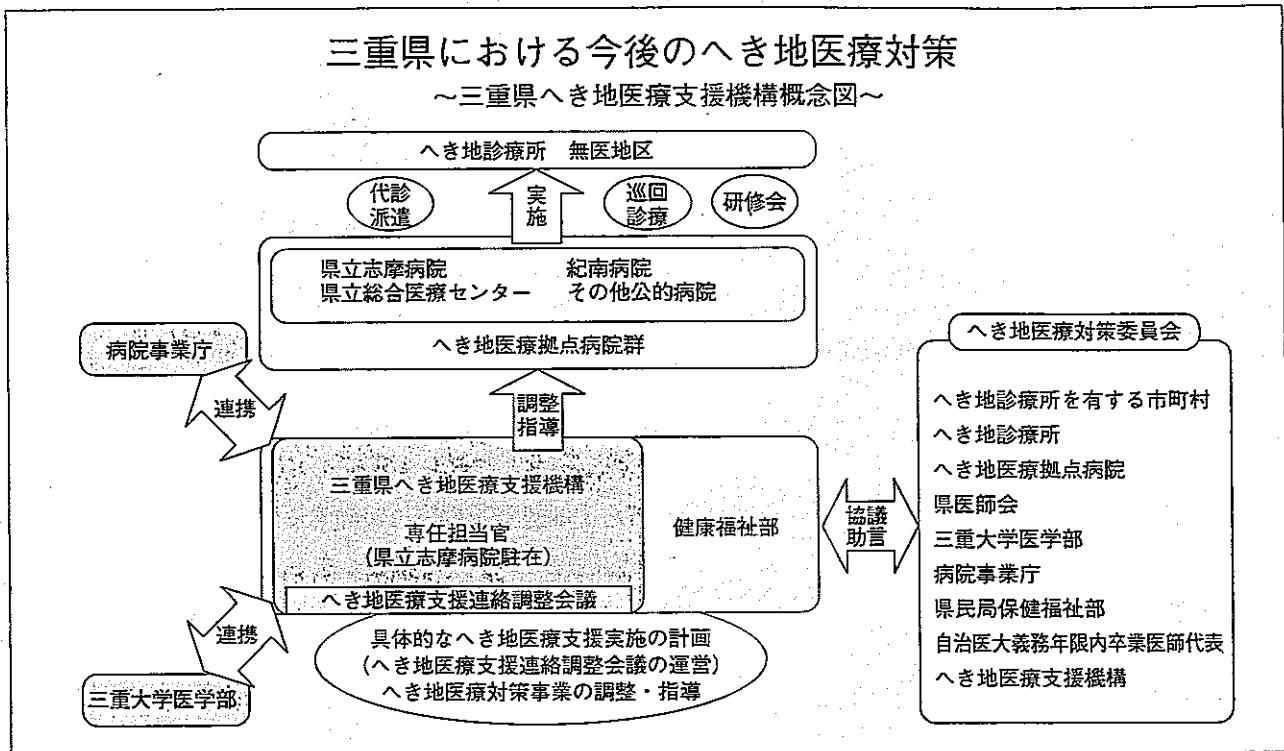
- へき地勤務医師等の確保及び質的向上
 - ・ 自治医科大学において、へき地勤務医師の養成を継続して行います。
 - ・ 充実した地域医療に携わることができるよう、自治医科大学義務年限内者の後期研修体制の見直しを行います。
 - ・ 三重大学医学部をはじめとする医療関係者と協力し、医師確保対策を検討していきます。
 - ・ へき地に勤務する医療従事者のため、研修体制の見直しを図ります。
- 包括医療の確保
医療機関、各保健所（保健福祉部）、市町村、介護保険事業等と連携を図りながら、包括的な医療を目指します。

「へき地医療支援機構」における取組み

- ・ 無医地区に対する巡回診療はもとより、「へき地医療拠点病院」から「へき地診療所」に対して代診医の派遣を推進していきます。
- ・ へき地診療所における実態を調査し、へき地診療所勤務医師の研修会の実施等、へき地医療を支援していきます。
- ・ 他の公的病院についても、「へき地医療拠点病院」になっていただくよう協力依頼していきます。

三重県における今後のへき地医療対策

～三重県へき地医療支援機構概念図～



■へき地診療所（平成15年9月末現在）

市町村名	施設名	医師
鳥羽市	神島診療所	常勤
	菅島診療所	常勤
	桃取診療所	常勤
	長岡診療所	常勤
	鏡浦診療所	非常勤
	鏡浦石鏡診療所	非常勤
熊野市	五郷診療所	常勤
	神川診療所	非常勤
	育生診療所	非常勤
上野市	諏訪診療所	非常勤
嬉野町	宇気郷診療所	非常勤
飯高町	森診療所	常勤
	波瀬診療所	非常勤

市町村名	施設名	医師
宮川村	大杉谷診療所	非常勤
大山田村	阿波診療所	常勤
青山町	青山診療所	非常勤
南勢町	宿田曾診療所	常勤
	相賀浦診療所	休止中
	礪浦診療所	休止中
	迫間診療所	休止中
南島町	古和浦へき地診療所	非常勤
御浜町	尾呂志診療所	常勤
紀宝町	相野谷診療所	常勤
紀和町	紀和診療所	常勤
	楊枝出張診療所	非常勤
	上川診療所	非常勤

■へき地医療拠点病院（平成15年4月1日指定）

施設名
県立志摩病院
公立紀南病院
県立総合医療センター

■無医地区の状況（平成15年9月末現在）

市町村名	地区名	人口
紀和町	西山	364人
	上川	229人
紀宝町	浅里	123人
計	3地区	716人